

# 『ソフトウェア開発の会計・税務・リスクマネジメント』 お詫びと訂正

本書におきまして誤りがございました。謹んでお詫びいたしますとともに、下記のように訂正いたします。

株式会社 中央経済社

## (1) 91 頁 下から3行目～2行目

- <誤> 特に企業グループ外部で構築された**パブリック**クラウド上で
- <正> 特に企業グループ外部で構築された**プライベート**クラウド上で

## (2) 93 頁 図表 2-2-9 下部



## (3) 180 頁 下から1～2行目

- <誤> 契約獲得のための増分コストおよび契約を履行するためのコストは、IFRS 第 **ん**。そのため、
- <正> 契約獲得のための増分コストおよび契約を履行するためのコストは、IFRS 第 **15号**では**資産計上**が求められますが、**日本基準**では**このような規定はありません**。そのため、

## (4) 200 頁 見出し「ii」から数えて5行目

- <誤> ただし、既存ソフトウェア等の**使用**を大幅に変更するための
- <正> ただし、既存ソフトウェア等の**仕様**を大幅に変更するための

## (5) 200 頁 図表 3-1-5

### キャプション

- <誤> 既存ソフトウェア等の**使用**を大幅に変更する場合
- <正> 既存ソフトウェア等の**仕様**を大幅に変更する場合

### 区分欄 1つ目

<誤> 既存ソフトウェア等の**使用**を大幅に変更

<正> 既存ソフトウェア等の**仕様**を大幅に変更

### 区分欄 2つ目

<誤> 新たなソフトウェアを製作するために、既存ソフトウェア等の**使用**を大幅に変更

<正> 新たなソフトウェアを製作するために、既存ソフトウェア等の**仕様**を大幅に変更

### (6) 310 頁 下から 2 行目

<誤> 例として **4** つのケースを紹介します。

<正> 例として **3** つのケースを紹介します。

### (7) 311 頁 上から 9 行目～12 行目

<誤> アクセス権を必要最小限に保つことについて、ivでは、**ログの記録と保全の重要性といった可監査性の確保を目的に「ルールどおりに運用されている」ことを効率的に説明するために関連するログの記録と保全を行うことについて、解説**します。

<正> アクセス権を必要最小限に保つこと**について、解説**します。

### (8) 347 頁 図表 5-2-7 ②パターン 1 のメーカーの仕訳

<誤> (借) **買** 掛 金 30

<正> (借) **売** 掛 金 30

### (9) 393 頁 図表 5-3-27 パブリッシャーの仕訳

<誤> (貸) **現金及び預金** 100

<正> (貸) **前払費用** 100

以上